

－ 高槻さくらフォーラム － 議会だより 平成24年
高槻市議会議員 田村規子の 議会だより 新年

発行者:高槻市議会議員 田村規子 事務所/高槻市梶原1-10-6 TEL684-2220 FAX647-6398



高槻市議会議員

田村規子(たむらのりこ)

★昭和38年5月高槻市梶原生まれ(旧姓:長谷川規子)

★高槻市立五領小学校、五領中学校、ノートルダム女学院高校、京都ノートルダム女子大学卒業

★京都宝ヶ池プリンスホテルに5年間勤務

★社会保険労務士。

★平成23年高槻市議会議員に初当選。すべての市民が元気で明るく暮らせる、コミュニケーションあふれるまちづくりを目指して活動中。

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市議会議員として初めての新年を迎えさせていただけたことに感謝致しております。これも皆様の多大なるご理解とご支援の賜であり心より厚く御礼申し上げます。昨年5月より、市議会議員という重責を担わせていただくことになり、4回の定例会を経て様々な議案を今の高槻市民のニーズに合っているのかという観点から審議してまいりました。議会で市に質問をする中で、チェックするだけではなく、新たな政策、手法の提案をするなど、精一杯の力で取組んでおります。これからはさらにより住みよい高槻のため、現場視察をはじめ市民の声をしっかり聴かせていただく所存です。本年もどうぞご指導を賜りますようお願い致します。



平成23年11月30日より12月16日まで17日間の会期中で平成23年第5回定例会が開かれました。その本会議で初めての質疑をしました。

本議会で上程された「高槻市事務分掌条例全部改正」の条例議案について質問しました。

平成24年4月から施行予定である機構改革のため条例議案について、部・室・課・係を減らし組織のスリム化をされる目的を問い、それが縦割り行政の負の部分が改善されると理解しているのか正したところ、市民ニーズがまず

まず高度化、多様化し新たな行政課題への対応が求められ、改革をし組織横断的な対応を促進し、市民に満足度の高い行政サービスの提供を目指したスリム化であり、行政の負の部分の改善になると答弁がありました。そこで、民間出身の濱田市長の発想やリーダーシップを活かせる組織体制であるとのことなので、新たに設けられる市長直轄の総合戦略室の機動政策課で、トップマネジメント機能が強力にはたらくことを要望しました。

質疑とは…議会上程された議案に対する質問をし、市から答弁を求めるものです。

12月議会 一般質問「文化財と市民のかかわり」

「いましろ 大王の杜」や「新池ハニワ工場公園」などが、歴史の学びの場であり、憩いの場であると同時にこれからは、市民協働の場としての利活用も求められるが、どのような方針なのかを、クリーンアップなど市民のボランティア活動や次世代を担う子どもたちの側面から教育委員会に正しました。

教育委員会では、文化財ボランティア団体と協働を進めるなかで、事前のPRや会場提供、技術的助言などの連携を深め、地域に根ざした文化財の保護、普及活動等をいっそう推進していく、また子ども達には、本物に触れることで、先人の英知を学び、地域の歴史に対する関心や、郷土を愛する心を育ていけるよう取組む考えであるとの答弁でした。

そして、文化財を通してさらに市民協働により新たな市民団体育成の支援と、多額の財源を活かし立派な「いましろ 大王の杜」が設立され、すでに開館して数ヶ月で7万人以上の来館があるのだから、市民、子ども達がずっと高槻に住み続けたいと思ってくれるためにも、「高槻のまち」そのものを全国に向けて、また来館者にも高槻グッズの販売などでアピールすることを検討してほしいことを強く要望しました。

一般質問とは…個々の議員が行う質問で、議員が行政全般にわたり、執行機関(市)に対し事務の執行状況や将来の方針等についてたずねることをいいます。

福祉企業委員会

第5回定例会中の12月6日に開かれ、次の質問をしました。

高槻市保健所事務手数料条例中一部改正について

今回の改正は平成24年4月から薬局開設許可等に関する事務が大阪府から移譲されることに伴うものであるが、適正で迅速な審査・監視指導を実施するためにどのような体制にするのかについて問い、業務量増加に対応した専門職員の確保やスキルアップを図るほか、これまで以上

に薬剤師会等の関係機関との連携を図ることを求めました。

福祉企業委員会とは…本会議で市役所側より提出される議案のうち、福祉と企業に関する議案を専門的に審査する委員会です。

本定例会で31件の議案が採択

*人事案件3件

・高槻市教育委員会委員任命についての同意について他

*契約案件2件

・平成23年度公共下水道築造工事(第1工区)請負契約締結について他

*予算案件5件

*条例案件11件

・高槻市事務分掌条例全部改正について他

*その他案件10件

・古曽部防災公園の指定管理者の指定について他

本定例会で採択された主な補正予算議案

- 自治会の防犯カメラ設置に対する補助(480万円)
- 障害者虐待防止法の周知、啓発に係る経費(1,164,000円)
- 総合保健福祉センター医療機器の修繕・更新の費用(278万円)
- 東日本大震災の被災地の中学生を高槻シティ国際ハーフマラソンに招待するための経費(997,000円)

安満遺跡芝生公園等(京大農場)の関連議案撤回

9月議会で濱田市長が上程し、その上面利用が不確定である等の理由で継続審査となっていました。この12月議会で、上面利用やその進行の方法やスケジュール等において一定の期間が必要であるという理由で撤回した

いと通知され、承認されました。濱田市長は京大農場の移転が大前提ではあるが、今後も市街地に近接している貴重な土地であるので、高槻市の新たなシンボル公園として検討していきたいと述べられました。

平成22年度の決算が認定されました

10月17日より4日間に開かれた、平成22年度決算審査特別委員会の委員長報告が行われ、本会議で採決によりすべて認定されました。

濱田市長へ自由民主党議員団からの要望

私が所属します自由民主党高槻市議会議員団におきまして、昨年12月、濱田市長に対して、「高槻市の施策と予算編集に関する要望書」を提出しました。濱田市長が掲げている「住みやすさナンバーワン」のまちづくりにおける、具体の要望を致しました。道路に関しては、富田北駅宮田

線の街路整備、府道十三高槻線の延伸等を、子育て・教育環境に関しては、高槻東地区の図書館創設、発達障害支援のためのサービスの充実化等を、また安満遺跡の京大農場の利活用等、時代を見据えた都市経営を行うことへの要望です。